

KYOEI NEWS

 **共栄システム株式会社**
 〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
 TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
 e-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
 URL http://www.kyoeisystem.co.jp

〈運送会社の経営情報〉



労働時間の管理

A 社は、乗務員の残業手当について現在係争中です。
 A 社の問題は、とりわけ長距離乗務員の労働時間の管理が不十分な点にあります。
 拘束時間、実労働時間、休憩時間の実態が不明で、労使の主張に大きな相違がみられます。
 特に運送業では、休日の関係で1か月または1年単位の変形労働時間制が採用されているケースが多くみられます。このような場合の時間外労働時間の算定方法は、少し複雑になりますが下記のようになります。

①1日についての算定

1日の所定労働時間が8時間を超えて設定されている場合は、その所定労働時間を超えて労働した時間、8時間より少なく設定されている場合は8時間を超えた時間

②1週間についての算定

1週間の所定労働時間が40時間を超えて設定されている場合は、その所定労働時間を超えて労働した時間、40時間より少なく設定されている場合は、40時間を超えた時間

③変形期間についての算定

変形期間における法定労働時間の総枠を超えて労働した時間

(1か月⇒約171時間～177時間 1年⇒約2,085時間)

上記の中で、しばしば③のみで計算する会社が見受けられますが、このような場合は残業代の未払いが発生する事態が生じてきます。

以上のことを踏まえますと、残業が恒常的に発生する運送会社においては、労働時間管理は少なくとも1週間単位で管理する必要があります。



下表は、主として長距離運行を主として実施しているB社の労働時間管理表です。

(1週間単位の労働時間管理表)

曜日	月	火	水	木	金	土	日	小 計
日付	1	2	3	4	5	6	7	
拘束時間								
休憩時間								
実労働時間								
所定労働時間								
残業時間								
深夜時間								
法定休日労働時間								

B社では、個別の運転者ごとに上表を繋ぎ合わせ1か月単位の表を作成しています。
 また、実労働時間の計算においては、始業時刻は出勤時刻ではなく、
 会社指定の時刻として取扱っています。



※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡ください。

貴社名		アドレス	
-----	--	------	--